

自衛隊のイラク派兵に反対する請願書

衆議院議長 殿 参議院議長 殿
内閣総理大臣 殿 防衛庁長官 殿

年 月

小泉内閣は、アメリカにいわれるままに、自衛隊の地上部隊をイラクに派兵しようとしています。私たちは、このことにつよく反対します。

いま、イラクでは、無法な戦争に続く、軍事占領への不満と抵抗が高まり、治安も悪化するなかで、米軍が連日のように襲撃されています。自衛隊が派兵されるなら、米英軍とともにイラク国民を殺傷しかねないし、逆に銃口を向けられることにもなります。自衛隊の派兵を、「非戦闘地域」に限り、「武力の威嚇・行使をしない」などとするイラク派兵法についての政府の説明は、完全に破たんしています。

自衛隊のイラク派兵は、米英の無法なイラク戦争を正当化し、軍事占領を追認するもので、多くのイラク国民が反対しています。それは、イラク国民の意思を尊重した復興の道に反するとともに、人道支援をはじめ国連中心の復興支援を求める国際社会の声にも背を向けるものです。

憲法をじゅうりんする自衛隊のイラク派兵は、絶対におこなってはなりません。

〔請願項目〕

自衛隊をイラクに派兵しないこと。

氏 名	住 所

取扱団体